

SAH×学習 セルフプランニング力の育成②

ステップアップの秋～考え方も一歩前へ～

I 勉強することの意味

「勉強すること」を将来に繋げよう。そのために今、そしてこれからの社会に目を向けよう。「勉強すること」そのものに意味があるのです。



今の力で入れる大学ではなく。

大学や専門学校に進学することはみんなの将来の可能性を広げることでなければ意味がありません。そして、受験勉強をすることで得るものはたくさんあります。知識はもちろん努力する大切さ、忍耐力、計画性、自分の殻を破ること、挫折や失敗も含めて必ずやこれからの人生の大きな経験値となります。だから、

「今からやって受かりますか？」ではなく。

「受からないなら勉強やらない」ではなく、「勉強は嫌だからやらない」ではなく、**勉強することがあなたの可能性を広げてくれる**ことに気づきましょう。既に受験モードに入っている生徒も同様です。今頑張っていること、身につけていることがあなたにとってプラスになっているのです。知識は人を自由にします。そして、たくさん知った知識を繋げていきましょう。



II 1、2年生へ 二学期中間考査終了。からの・・・

振り返り→反省(改善点のチェック)→計画の立て直し→実行

定期テストである二学期中間考査が終了しました。出来はどうでしたか？まだ全科目返ってきてないと思いますが、手応えは？定期考査が学年の成績に反映するテストであることは理解していると思いますが、まだ定期考査は2回あります(3年生は後1回)。だから、今回の点数で学年の



成績が決まるわけではありません。大事なのは、今回の中間考査に向けての準備、計画、取組、結果を振り返って「反省点」「課題」あぶり出し、次回に生かすこと。「試験範囲の勉強が本番までに終わらなかった」「前日にやっただけ(だから知識として自分の身になっていない)」「もっと早く始めないとダメだとわかった」・・・そういった課題を次回の期末考査に向け

てどう改善させるか、そしてどうステップアップさせるかを考えて実行に移すんだ。毎回同じ失敗を繰り返すのか、失敗を活かせるのか、ここが大きな分岐点となります。「失敗は成功のマザー」です。

課外補習の心構え―何の「補」？

朝の課外補習(3年生は放課後課外も)が始まっています。「課外補習」の位置づけについて確認しておきましょう。補習は「補」習です。何の「補」なのか？そうです。「授業」です。授業のプラス α が課外補習に位置付けられます。授業をしっかり受けてこそ効果のある補習なわけです。前南では受験学力を身に付けさせるために、「授業を軸」に行い、 $+\alpha$ で補習を行います。だから、まずは授業をしっかり受ける、これが大前提であり、授業をしっかり受けていない人が補習を受けても効果は上がりません。だから、課外補習が自分の学習のどこに位置づけられるのか、それを認識した上で参加し、取り組んでください。そして、この考え方は「塾」にも当てはまるよね。「不安だから」「みんなが行っているから」なんとなく塾に行って、塾も授業も中途半端で、お金と時間をかけたほど学力が身に付いていない…なんていう人は、「塾」が自分の学習のどこに位置付いているのか考えてみよう。



「前のめり」で受ける！

そして、ただ受け身で参加しても学力は身に付きません。朝課外にとりあえず申し込んだけど、ウトウトしながら課外補習を受けていてはダメだね。補習も授業も朝から臨戦態勢で臨み、席も当然前で受け、「参加している誰よりも理解してやろう」という「前のめり」の気持ちで受けましょう！

Ⅲ 3年生へ共通テストまであと約100日 国公立二次[前期]まであと約140日

10月は徹底的に知識の入力月間！

これからの二学期をイメージして「共有」しよう。秋が深まっていくにつれて、授業は共通テスト対策に移行していく教科も多いだろう。そう考えると、秋深まって共通テストの演習をガンガンやると想定するなら、逆算して10月は解くための知識をガンガン入れる必要があります。得点に直接結びつく科目もあるから10月から11月中旬にかけては夏休み以上の「入力」を重点的にやっていこう。

共通テスト～どの科目で何点取るかのシミュレーションはできているか～

河合塾やベネッセが各大学の共通テストボーダー得点率を発表しています。65%が必要だとして、どの科目で何点取るかのシミュレーションはできていますか？数学が50点しか取れなくても日本史で80点取れば65%になります。自分の適性に合わせてシミュレーションを必ずしておく。共通テスト重視の大学なら、どの科目で取っても1点は1点。頭は冷静に、心は熱く、地に足着けてこの秋JUMPUPだ！